

## ĐỀ CƯƠNG TỪ VỰNG HỌC

### Bài 8

**ディノテーション:**具体的な場面や文脈の影響を除いた、多くの人が共通して認める意味.

**コノテーション:**連想的などの文化や個によって特定される意味.

具体的な発話や文から独立語の意味を**意義素**という;意義素は意味特徴と呼ばれる語の要素が集まって形がつくられている.

**単義語:**1つの意味しか持たないものもあれば

**多義語:**いくつかの意味を持つ

**同音語(同音異義語)**はもともと別の語であるのに、たまたま同じ語形を持つ語のことをいう.

**同形語:**漢字による表記が同じで、語形が違うもの.

### Bài 9

**類義語**とは意味のよく似ている単語のセットである.

**反義語**は対義語、反対語とも呼ばれ、反対の意味や対になる意味を持つ単語のグループである

#### **Phân loại:**

1:肯定一否定:男一女

2:両極関係:北一南

3:程度の差:大きい一小さい

4:一つの対象を異なる2つの視点から見た対立:売る一買う

5:お互いに他を前提にして成り立っている関係:親一子

6:状態の変化にかかわり、互いにもとの状態に戻る関係

7:互いに逆方向に移動する単語と単語の対立:入る一出る

**選択制限:**語が結合するとき、ある意味的な条件を満たしていなければならない。

## **Bài 10**

**連語:**結合に制約があるが、全体の意味は個々の構素から理解できるもの

**慣用句:**全体の意味が構成語の意味の総和からは出てこない特別の意味を表すもの。

**連語の 4 種類に大きく分ける:**

1:名詞+動詞:名詞十を/が/に+動詞

2:名詞+形容詞

3:形容詞.形容動詞+各詞

4:副詞+動詞.形容詞.形容動詞

**慣用句:**3 があります

1:動詞慣用句(名詞+動詞)

2:形容詞慣用句(名詞+形容詞)

3:名詞慣用句(名詞+名詞)

**比喻**とは、物事を表現するときに他の物事に例えて表現することです

**類似性**はさらに **3 つに分類される**

1:形や位置の類似

2:印象の類似

3:機能.性質の類似

**換喩**はある物事を表現するのに、それを関係の深いもので置き換える方法である

**活喩**は一般に無生物を生命のあるもののように扱い

**提喩**は全体で部分を表したり、部分で全体を表す方法である

**擬人法**は人間ではないものを人間に例えて表現する方法である

Bài 11:

**擬声語(擬音語)**:無生物の出す外界の音を表す語

**擬態語**:動きや状態を音によって象徴的に表す語

**擬情語**:特に人間の心の状態を表す語

**音象徴語**:擬声語.擬態語の両方に用いられ、どちらか判断できなかったりする語

**擬声語.擬態語**あ語形と事物.事柄の間にある程度有縁性が認められる

**Bài 13**

**語の意味変化**とは時の流れとともに語の意味がその本来の意味である原義から別の意味に変わる事

**語の意味変化の一般的傾向**

1:抽象化:具体的なものや動作を表す語は、抽象的な意味に使われることが多い

2:一般化(拡大):語の本来の意味が広くなることである

3:特殊化(縮小):語の本来の意味が狭くなることである

4:向上:あるいはよい意味だけをさすようになることである

5:下落:

## **Bài 14**

**位相:**言葉はそれを使う人の属する性・年齢・階層職業地域集団などによって異なる

それに基づく言語上の差異を**位相差**を言う

位相差を反映する特有な語彙を**位相語**という

**集団語**は特定の社会集団や特定の専門分野において使用される特徴的な語彙である

**3 があります**

- (1) 職業語
- (2) 専門語
- (3) 若者語
- (4) 忌詞